

小山町観光振興計画  
アクションプラン  
(平成 28 年度評価結果)



平成 29 年 7 月

小 山 町

# 目次

I	小山町観光振興計画・アクションプランの概要	1
1	小山町観光振興計画・アクションプランとは？	1
2	観光振興計画・アクションプランの体系	1
II	実績評価の方法	5
1	評価の方法	5
2	評価の基準	5
III	評価結果	6
1	総括	6
2	基本施策①：富士山交流観光プログラム	7
3	基本方針②：元気にぎわい観光プログラム	10
4	基本方針③：観光インフラ整備プログラム	14
IV	今後の課題	18

## I 小山町観光振興計画・アクションプランの概要

### 1 小山町観光振興計画・アクションプランとは？

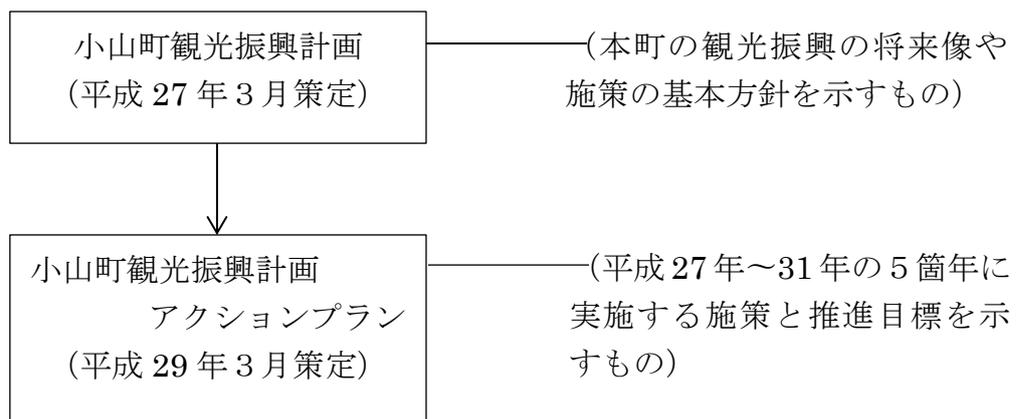
小山町は「富士山頂と金太郎生誕の地」であり、世界文化遺産である富士山とその関連資産をはじめ、豊富な観光資源に恵まれています。

2020年までに、新東名高速道路の開通や小山PAとSIC\*の開設、足柄SAへのSIC設置が予定されています。また、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されることとなっており、多くの外国人観光客も訪れる可能性があります。

本町では、このチャンスを生かすべく平成27年3月に「平成31年度に観光交流客数500万人」を目指す「小山町観光振興計画」を策定しました。

また平成29年3月には、「観光振興計画」に掲げた基本目標、基本方針及び具体的施策を着実に推進していくため、「観光振興計画アクションプラン」を策定し、78本の施策毎に具体的な取組や数値目標等を明らかに示しています。

\*SIC:スマートインターチェンジ



### 2 観光振興計画・アクションプランの体系

「観光振興計画アクションプラン」(以下アクションプランという)は平成27年から平成31年度を計画期間とし、その間に実施する観光振興施策を示すものです。

アクションプランは、観光振興計画の体系に添って観光振興施策の内容を示しています。

# 観光振興計画体系図

## (基本目標)

約430万人(平成25年度) ⇒ 500万人(平成31年度)  
 ”小山町へおいで！ 世界から” 観光交流500万人プログラム

### (具体的施策)

- (1) 須走口五合目を再整備します
- ① (仮称)富士山須走口インフォメーションセンターの設置
  - ② 駐車場の整備
  - ③ 整備計画の推進
  - ④ ふじあざみラインの道路改良の推進

- (2) 登山者などへの対応を充実します
- ① 登山案内及び指導の強化
  - ② 登山装備サービスの提供
  - ③ 世界遺産案内板の設置
  - ④ 須走ルートの魅力の紹介
  - ⑤ 須走流登山スタイルの確立

- (3) 須走口五合目散策コース・富士箱根トレイルを活用します
- ① 案内板の設置
  - ② 散策ツアーの開催
  - ③ 富士箱根トレイルの管理
  - ④ コースの魅力の情報発信
  - ⑤ ガイド付き散策ツアーの開催
  - ⑥ 来訪時期や所要時間によるコースの設定

- (4) 富士山の眺望スポットを整備します
- ① 富士山眺望スポットの充実
  - ② 案内看板の整備・案内マップの作成

- (5) 富士浅間神社の魅力を高めます
- ① 須走地区を富士山観光の拠点としたまちづくり
  - ② 住民参加による観光地づくり
  - ③ 富士浅間神社へのツアー誘客の強化
  - ④ ボランティアガイドによる案内
  - ⑤ 富士浅間神社のPR

- (6) 富士山の環境保全を観光振興につなげます
- ① 景観条例の制定
  - ② 富士山と調和する景観づくり
  - ③ 富士山における環境学習の場の提供
  - ④ マイカー規制の実施
  - ⑤ 富士山環境ツアーの開催

- (7) 美化活動を進めます
- ① 富士山清掃の実施
  - ② 登山者マナーの向上

## (基本方針1)

**富士山交流観光プログラム**

世界文化遺産に登録された富士山の文化、水と緑に恵まれた自然、抜群の景観を小山町のすばらしい観光資源として活用し、観光交流客数を増やします。

(基本方針2)

元気にぎわい観光プログラム

金太郎のように元気にぎわいのある町を目指し、自然や歴史、文化、施設など様々な観光資源を活用し、観光交流客数を増やします。

(具体的施策)

- (1) 金太郎をシンボルとした観光活性化を図ります
- ① 金太郎シンボルデザインを活用したPR
  - ② 金太郎商品のブランド化
  - ③ 金時公園の活用
  - ④ 金太郎を活用した広域連携の推進
  - ⑤ 相撲大会の開催
  - ⑥ 金太郎伝説ゆかりの地のPR・紹介

- (2) スポーツによる誘客を進めます
- ① スポーツ大会などの誘致・拡充
  - ② 合宿などの誘致
  - ③ 富士スピードウェイとの連携

- (3) 農のある暮らしをにぎわいに活かします
- ① 農産物直売所の整備
  - ② 農家民泊の試み
  - ③ 農業体験の推進
  - ④ 林業体験の推進

- (4) 自転車による観光振興を進めます
- ① 自転車大会の拡充
  - ② 新たな自転車大会の開催
  - ③ 「サイクリストにやさしいまちづくり」の推進

- (5) 自衛隊との連携による観光振興を進めます
- ① 自衛隊イベントを通じた町のPR
  - ② 町内イベント等への参加依頼

- (6) 観光拠点を活用します
- ① 道の駅の活用
  - ② あしがら温泉等の活用
  - ③ 豊門公園等の活用

- (7) 新たな観光スポットを整備します
- ① ホタルの里づくり
  - ② 北郷の森の整備
  - ③ リゾート宿泊機能の誘致
  - ④ 産業観光の提供

- (8) ハイキングコースを活用します
- ① 足柄古道などの活用
  - ② 市町村連携によるハイキングコースの活用
  - ③ (仮称)おやま物語100選の作成・散策

- (9) ロケ地としての強みを活かし知名度を高めます
- ① ロケ地の発掘・整備と活用
  - ② 映画祭の開催
  - ③ ロケの誘致
  - ④ 民間組織の設立支援

(基本方針3)

観光インフラ整備プログラム

町の観光資源の魅力を最大限に引き出すために、情報・交通基盤の整備や広域連携の推進、観光客の受け入れ態勢の充実などの観光インフラの整備を行います。

(具体的施策)

(1) シティプロモーションの充実を図ります

- ① 旅行会社への観光資源の紹介
- ② 首都圏などで開催される展示会への参加

(2) おもてなし人材による着地型観光を充実します

- ① 観光ガイドの育成
- ② 次世代を担う人材の育成
- ③ 小山町観光検定の実施
- ④ 小山町観光親善大使の認定

(3) インバウンドへの対応を強化します

- ① プログラムの開発
- ② 外国人観光客へのおもてなしの充実
- ③ 外国語表記の充実
- ④ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた環境整備

(4) 観光情報の基盤を整えます

- ① 総合的な観光情報の集約・管理
- ② Wi-Fiスポットの整備
- ③ ネット予約・決済環境の整備促進

(5) 観光交通基盤を整備・活用します

- ① 季節運行バスの利便性向上
- ② 小山PA/足柄SA周辺の整備
- ③ ユニバーサルデザイン化の推進

(6) 広域連携を推進します

- ① 広域ネットワークによる取り組みの推進
- ② 金太郎にちなんだ交流の活性化

(7) 特産品・名産品の充実を図ります

- ① 道の駅・足柄SA・小山PAにおける販売促進・PR
- ② 特徴ある商品を育成
- ③ インターネットを活用した販売促進
- ④ ロケ地を活用した特産品の販売促進
- ⑤ ご当地グルメの開発

(8) 小山町をエリアとしてアピール・ブランド化します

- ① 地域ブランドの構築
- ② ブランドイメージの確立

(9) 日本版DMO候補法人を設立し観光地域づくりを推進します

- ① 町内観光の実態把握
- ② 戦略的観光プロモーションの実施
- ③ DMO設立のための合意形成

## Ⅱ 実績評価の方法

### 1 評価の方法

アクションプランでは平成 27 年度の数値を現状値（基準値）とし、平成 31 年度を最終目標値として設定し、その間の各年度の値も示しています。

アクションプランの進行管理として行う実績評価は、平成 28 年度における達成目標値に比べ、平成 28 年度末でどの程度達成しているかを精査し、実績評価を行ったものです。

#### アクションプラン（例示）

年度別目標(指標等)	区分	時期	主体	達成目標				
				27 年度(実績)	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
金太郎シンボルデザインを活用したPR(外部使用件数)	継続	A	町	7件	10件	12件	14件	16件

#### 実績評価（例示）

年度別目標(指標)	現状値(27 年度)	目標値(31 年度)	H28 年度	備考(内訳等)	評価
金太郎シンボルデザインを活用したPR(外部使用件数)	7 件	16 件	16 件 (10 件) ※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おやま地域振興券(商工会)</li> <li>・プレミアム商品券(商工会)</li> <li>・ビンゴ祭り(商工会)</li> <li>・金太郎勝バーガー(富士箱根伊豆ガイド協会)</li> <li>・タオル(あしがら温泉)</li> <li>・ウェルカムボード(商工会)</li> <li>・商工会だより(商工会)</li> <li>・他2件(建設課・生涯学習課) 等</li> </ul>	順調

※上段：平成 28 年度実績値、下段カッコ内：平成 28 年度目標値

### 2 評価の基準

以下に示す基準により、実績を評価しました。

評価区分	評 価 基 準
順調	平成 28 年度の実績が既に目標値に達しているもの又は、目標達成に向け着実に成果が上がっているもの。
概ね順調	平成 28 年度の実績は目標値に達していないが、今後も継続して取り組むことにより、目標達成が可能であると見込まれるもの。
やや遅延	平成 28 年度の実績が現状値（平成 27 年度）より下回っており、目標達成に向けてより一層の取組みが必要なもの。
遅延	平成 28 年度の実績が現状値（平成 27 年度）より下回っており、目標達成が困難なもの。
未実施	財源が確保できない等の理由により、事業を実施しなかったもの。
準備中	平成 31 年度の目標達成に向け、調査、検討中であるもの。
—	平成 28 年度の実績（数値）が確定していないもの。

### Ⅲ 評価結果

#### 1 総括

アクションプランの基本目標に掲げている観光交流客数は、平成 28 年度の目標値 430 万人に対して実績は 414 万人と目標値には達しませんでした。対前年比で 24 万人増加しており、計画が進んでいる金時公園や豊門公園等の整備、民間宿泊施設の建設、新東名高速道路の開通やスマートインターチェンジの開設等による誘客が見込めることから「概ね順調」と判断しました。

アクションプラン全体の進捗状況としては、全 78 本の施策の内、「順調」は 51 本、「概ね順調」は 6 本、「やや遅延」は 5 本、「未実施」は 1 本、「準備中」が 15 本でした。

「順調」・「概ね順調」を加えると、全体の 7 割強となり概ね順調に進んでいるといえる。しかしながら現時点では未だ準備中の案件が多く、中でも「2-(2) 合宿などの誘致」は町全体で取り組むべき大規模な案件であり、また「2-(8) (仮称) おやま 100 選の作成」や「3-(2) 観光ガイドの育成」などは観光客の受入環境を充実する重要な施策であるため、今後適切なスケジュール感をもって取り組むことが必要であると考えます。

さらに新たに進めているDMO※の取組の中で、多様な関係者（事業者や地域住民等）との連携により、各施策を推進するとともに、稼ぐ観光の確立に向けたしくみづくりが急務と考えます。小山町における DMO は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、観光地域づくりを実現するための戦略を着実に実施する調整機能を備えた法人とします。

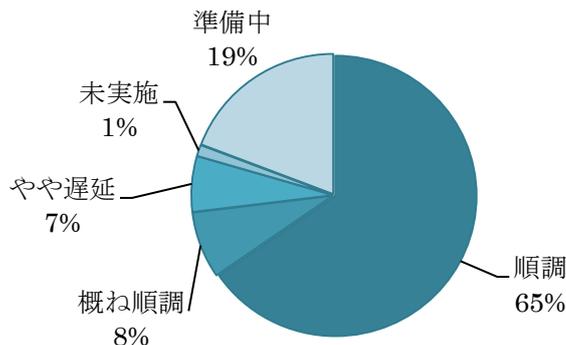
※DMO とは、観光施設、自然、食、芸術、芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人のこと。

#### 小山町観光振興計画アクションプラン（基本目標）

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
観光交流客数	390万人	500万人	414万人 (430万人)	観光レクリエーション客数 401万人 宿泊客数 13万人	概ね順調

#### < 施策進捗状況 >

評価区分	個数
順調	51
概ね順調	6
やや遅延	5
未実施	1
準備中	15
<b>合計</b>	<b>78</b>



## 2 基本施策①：富士山交流観光プログラム

施策 21 本の内、「順調」は 15 本、「概ね順調」は 2 本、「やや遅延」は 1 本、「準備中」が 3 本でした。

世界文化遺産「富士山」を活用しての誘客にあたっては、須走口五合目へのアクセス道路となるふじあざみラインの改良工事やWi-Fi環境の整備、富士山ナビゲーターの配置など、来訪者受入のための環境整備は着々と進んでいるが、登山客や観光客の活動拠点となる五合目インフォメーションセンターの整備がやや遅れており、早急に、環境省や林野庁、文化庁、静岡県等の関係機関との協議が必要とされます。

### 1- (1) 須走五合目を再整備します

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
(仮称)富士山須走口インフォメーションセンターの設置、駐車場の整備、アプローチの改善	整備基本構想策定	センター設置 駐車場整備 アプローチ改善	整備基本構想策定中 (整備基本計画策定)	環境省、林野庁、静岡県等との協議を継続	やや遅延
ふじあざみラインの道路改良の推進	9.4kmポスト改良	道路改良の推進	9.4kmポスト付近の改良完成 10.8kmポスト付近の改良中 (9.4kmポストの改良、10.8kmポスト改良)	10.8kmポスト付近の改良を促進	順調

### 1- (2) 登山者などへの対応を充実します

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
Wi-Fi環境の整備 (設置箇所数) (富士山関連分)	2箇所	14箇所	14箇所 (14箇所)	・五合目観光案内所 ・各山小屋(13箇所)	順調
富士山ナビゲーターの配置	4人	4人	5~6人 (4人)	・日本語ナビ(3人) ・外国語ナビ(2~3人)	順調
登山装備サービスの提供	登山装備の販売 レンタルの実施		検討中	登山装備の販売・レンタルの実施に向け検討中	準備中
世界遺産案内版の設置	2基	3基	3基 (3基)	①富士浅間神社 ②ふじあざみライン入口 ③須走口五合目	順調
須走ルートの魅力紹介 (「須走口において情報発信が行われている」と回答する町民の割合)	—	50%	32% (32%)	町民アンケート H28年度結果 32%	順調

1-(3) 須走口五合目散策コース・富士箱根トレイルを活用する

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
案内板の設置(小富士、まぼろしの滝への誘導看板)	2基	2基	2基 (2基)	小富士、まぼろしの滝への誘導看板の設置継続	順調
散策ツアーの開催 (五合目周辺での開催回数)	2回	5回	2回 (2回)	・シャクナゲツアー 7/14(木) 実施 ・星空観賞ツアー 9/3 (土)~4(日)雨天中止 ・小山町須走巡拝の道モニターツアー	順調
富士箱根トレイル管理 (管理団体数)	8団体	11団体	8団体 (8団体)	①木の根会、②秀峰山岳会、③農協青壮年部、④生土明德社、⑤合同会社金太郎、⑥史跡を守る会、⑦中島区、⑧桑木区(新柴区)	概ね順調
ガイド付き散策ツアーの開催 (富士箱根トレイル等での開催回数)	1回	4回	1回 (1回)	・足柄千年古道ハイキング実施 5/21	概ね順調
来訪時期や所要時間によるコース設定(コース設定数)	-	4コース	設定中 (-)	富士箱根トレイルコースの一部変更について作業中	準備中

1-(4) 富士山の眺望スポットを整備します

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
富士山眺望スポットの充実 (眺望スポット箇所数)	-	6箇所	調査中 (-)	眺望スポットの設定に向け調査中	準備中

1-(5) 富士浅間神社の魅力を高めます

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
須走地区を富士山観光拠点としたまちづくり	須走地区金太郎計画2020推進協議会との協働による観光地づくりの推進			富士山に関するシンポジウムや富士登山ツアー開催等、観光地づくりを推進中	順調
ボランティアガイドによる案内(案内回数)	1回	5回	3回 (3回)	①エコカーカップ ②富士山の日イベント ③FUJI-ZONCOLANヒルクライム	順調

1-(6) 富士山の環境保全を観光振興につなげます

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
景観条例の制定	制定	施行	施行 (施行)	景観計画を策定し、富士浅間神社区域や国道138号沿線区域を重点区域に指定して景観保護に努めた。	順調
富士山と調和する景観づくり (「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができる」と回答する町民の割合)	制定	70%	48% (48%)	町民アンケート H28 = 48%	順調
富士山における環境学習の場の提供	須走口の自然の豊かさなどを学べる機会の提供			姉妹都市富士登山学習として環境学習を開催	順調
マイカー規制の実施	47日間実施	63日間 (全日)	63日間 (全日)	7/10~9/10の連続実施	順調

1-(7) 美化活動を進めます

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
富士山清掃の実施 (環境美化・啓発活動実施回数)	3回	4回	4回 (4回)	①一斉清掃8/27 ②富士山環境美化清掃 (秀峰山岳会 9/17~18) ③富士山環境美化清掃 (小山高校野球部8/25) ④須走ルート巡視事業 7/4~9/14	順調
登山者マナーの向上	パンフレットなどを活用した登山マナーの啓発			・富士登山パンフレット 41,000部 ・富士山須走ルートビラ 7,000枚 ・富士山ナビゲーターの配置	順調

## 基本方針②：元気にぎわい観光プログラム

施策 31 本の内、「順調」は 21 本、「概ね順調」は 1 本、「やや遅延」は 3 本、「準備中」が 6 本でした。

金太郎の生家跡地にある金時公園はリニューアル工事に着手しており、多世代交流広場として町内外からの誘客促進を図ります。大型遊具や常設の土俵も整備されることから、金太郎伝説にちなんだ相撲大会の開催なども検討しています。

地域資源の活用としては、農林業体験や農家民泊、自衛隊や地元企業との協働により、小山町ならではの滞在型観光を造成し誘客を図ります。

自転車のまちづくりについては、自転車愛好家で組織する NPO 団体や自転車の普及促進に理解を示す企業との事業連携を図っているところであり、既存の自転車レースを継続するとともに、定期的に自転車イベントを開催することで「サイクリストにやさしいまちづくり」の PR 及び環境整備を進めていきたいと考えています。

また、フィルムコミッションでは、近隣の市町がロケ支援の取組を始めたことや、町内施設の整備に伴いロケ地としての活用が難しくなったことによりロケ支援数が減少したため、小山町フィルムコミッションと連携し新たな誘致策を検討していきます。

### 2-(1) 金太郎をシンボルとした観光活性化を図ります

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
金太郎シンボルデザインを活用したPR(外部使用件数)	7件	16件	16件 (10件)	・おやま地域振興券(商工会) ・プレミアム商品券(商工会) ・ビンゴ祭り(商工会) ・金太郎勝バーガー(富士箱根伊豆ガイド協会) ・タオル(あしがら温泉) ・ウェルカムボード(商工会) ・商工会だより(商工会) ・他2件(建設課・生涯学習課)等	順調
金時公園の活用(整備)	整備計画の策定	活用	実施設計	H29年度7/15着工	順調
金太郎を活用した広域連携の推進(金太郎をテーマとしたイベント回数)	検討	1回	検討 (検討)	検討中	準備中
相撲大会の開催(開催回数)	1回	2回	1回 (1回)	富士山金太郎春まつりでの「こども相撲大会」	順調
金太郎伝説ゆかりの地のPR・紹介(「金太郎生誕の地おやまのPRが行われている」と回答する町民の割合)	—	60%	47% (47%)	町民アンケート H28 = 47%	順調

2-(2) スポーツによる誘客を進めます

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
スポーツ大会などの誘致・拡充(ゴルフ大会開催回数)	2回	4回	3回 (2回)	①町民大会 ②町民スポーツ大会 ③みくりやGP	順調
合宿などの誘致(合宿件数)	調査	29年度調査に合わせ目標を設定	調査 (調査)	合宿誘致に向け調査中 (ゴルフ、マラソン等)	準備中
富士スピードウェイとの連携(出展回数)	10回	12回	13回 (11回)	①インタープロト第一戦 ②エコカーカップ夏の陣 ③SUPER GT ④K-4 GP ⑤インタープロト第三戦 ⑥富士チャレンジ ⑦WEC ⑧トヨタガズレーシング ⑨インタープロト第四戦 ⑩マラソンフェスタ ⑪ママチャリGP ⑫エコカーカップ冬の陣 ⑬富士ワンダーランドフェス	順調

2-(3) 農のある暮らしをにぎわいに活かします

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
農産物直売所の整備(出荷者数)	139人	150人	141人 (140人)	ふじおやま 116人 すばしり 25人 合計 141人	順調
農家民泊の試み	—	農家民泊の仕組みづくり	検討中 (—)	農家民泊についてJA観光と調査、検討中	準備中
農業体験の推進(収穫体験件数)	4件	6件	4件 (4件)	①田植え体験 ②稲刈り体験 ③サツマイモ掘り体験 ④トウモロコシ収穫体験	順調
林業体験の推進	—	林業体験の機会創出	検討中 (—)	林業関係者との意見交換により検討中	準備中

2-(4) 自転車による観光振興を進めます

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
自転車大会の拡充(サイクルイベント参加者数)	3,128人	5,000人	2,558人 (3,500人)	TOJ 96人 ヒルクライム 274人 富士チャレンジ 2,082人 ZONCOLAN 106人	やや遅延
新たな自転車大会の開催(開催回数)	4回	6回	5回 (5回)	①TOJ ②ヒルクライム ③ママチャリGP ④富士チャレンジ ⑤FUJI-ZONCOLANヒルクライム	順調
「サイクリストにやさしいまちづくり」の推進(サイクルベンチ・ラックの設置箇所数)	10箇所	13箇所	10箇所 (10箇所)	①町の駅、②道の駅ふじおやま、③道の駅すばしり、④橋本屋商店、⑤セブン小山、⑥セブン谷戸、⑦セブン菅沼、⑧セブン須走東、⑨ローソン須走口、⑩ローソン須走東	順調

2-(5) 自衛隊との連携による観光振興を進めます

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
自衛隊イベントを通じた町のPR(イベント出展回数)	1回	2回	1回 (1回)	・滝ヶ原まつり (着ぐるみを活用したPR)	順調
町内イベントへの参加依頼(参加回数)	4回	4回	4回 (4回)	①富士山金太郎夏まつり ②成人式 ③クリスマスファミリーコンサート ④道の駅すばしり5周年イベント	順調

2-(6) 観光拠点を活用します

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
道の駅「すばしり」の活用(利用者数)	421千人	429千人	402千人 (423千人)	レジ通過人数 19千人の減(H27対比)	やや遅延
道の駅「ふじおやま」の活用(利用者数)	686千人	704千人	695千人 (692千人)	カウンターによる計測 9千人の増(H27対比)	順調
あしがら温泉の活用(利用者数)	136千人	144千人	156千人 (138千人)	入浴者数 20千人の増(H27対比)	順調
豊門公園等の活用(イベント開催回数)	2回	3回	2回 (2回)	①もみじ祭り11/23 ②第4回映画祭11/20	順調

2-(7) 新たな観光スポットを整備します

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
ホテルの里作り(整備箇所数)	4箇所	5箇所	4箇所 (4箇所)	①湯船あさかえ園 ②中島八重桐の池 ③上野(室伏武家東側) ④総合文化会館	順調
北郷の森の整備(観光イベント開催数)	検討	1回	検討 (検討)	竹飯づくり体験教室や、ツリーイング等観光イベントとして検討中。	準備中
産業観光の提供(工場見学等可能企業数)	8件	10件	10件 (8件)	①(株)ジーシー富士小山工場 ②四国化工機(株)富士小山食品工場 ③大万氏紙業(株)富士小山工場 ④(株)日立ハイテクサイエンス小山事業所 ⑤三菱マテリアル(株)三田工場 静岡DBAセンター ⑥山本シーリング工業(株)富士工場 ⑦ユニバーサル製缶(株)富士小山工場 ⑧(株)リンガーハット富士小山工場 ⑨丸善食品工業 ⑩信濃高原食品	順調

2-(8) ハイキングコースを活用します

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
足柄古道などの活用(ツアー開催回数)	1回	2回	1回(1回)	・5/21 ツアー実施	順調
市町村連携によるハイキングコースの活用(広域的なハイキングコースの設定数)	1コース	2コース	1コース(1コース)	・千年古道ハイキング実施	順調
(仮称)おやま物語100選の作成	-	(仮称)おやま物語作成	町内の逸話等情報収集	小山町ならではの逸話(小話)の情報収集	準備中

2-(9) ロケ地としての強みを活かし知名度を高めます

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
ロケ地の発掘・整備と活用	ロケ地の調査、整備	ロケ地マップの作成、活用	ロケ地の調査、整理	町内ロケ地の調査、整理	順調
映画祭の開催(開催回数)	1回	3回	2回(3回)	①納涼映画祭(足柄ふれあい公園)8/20 ②映画祭(豊門公園)11/20	概ね順調
ロケの誘致(ロケ数)	178本	250本	140本(200本)	近隣市町がFCの取組を開始したことに伴い減少	やや遅延
民間組織の設立支援	-	支援継続	設立(設立支援)	NPO法人小山町フィルムコミッションの設立	順調

### 基本方針③：観光インフラ整備プログラム

施策 26 本の内、「順調」は 15 本、「概ね順調」は 3 本、「やや遅延」は 1 本、「未実施」は 1 本、「準備中」が 6 本でした。

小山町の認知度やイメージの向上を図るため「小山町シティプロモーション基本指針」を策定し、観光誘客戦略を 8 本の重点戦略のひとつとして位置付けました。取組内容としては、小山町版DMOの形成による観光地域づくりを推進し、世界文化遺産の富士山や世界規格の富士スピードウェイ等、グローバルスタンダードな観光施設を活用した各種イベントや大会を通じて国内外からの誘客を促進し、来訪者に対する町の認知度向上やイメージアップ戦略を展開することとしています。

国内はもとより、インバウンドへの対応、多様化する旅行者のニーズに対する受入環境の整備など、広域連携による取り組みも強化し地域での周遊性を高めていきます。

#### 3-(1) シティプロモーションの充実を図ります

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	実績(28年度)	備考(内訳等)	評価
旅行会社への観光資源の紹介(プロモーション実施回数)	1回	4回	3回(3回)	商談会出席回数 ・大宮商談会(6月) ・名古屋商談会(8月) ・大阪商談会(2月)	順調
首都圏などで開催される展示会への参加(展示会等への参加回数)	8回	12回	13回 (11回)	①ふじのふもと大博覧会 ②夏山フェスタ ③夏の太宮観光展 ④大道芸W杯 ⑤ふじのくに横浜観光展 ⑥西伊豆ふるさとまつり ⑦福知山うまいもの市 ⑧ふじさん写真展in宇都宮 ⑨島原市産業展 ⑩スカイツリー(ビューティフルNIPPON) ⑪ゴルフフェアin横浜 ⑫住まいの耐震博覧会 ⑬富士おやまキャンペーン	順調

### 3-(2) おもてなし人材による着地型観光を充実します

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
観光ガイドの育成(観光ガイド者数)	17人	30人	17人 (17人)	町民ガイド養成講座卒業生 (H25年より実施無)	順調
次世代を担う人材の育成(インターンシップ職場体験の受入数)	28人	30人	27人 (30人)	高校生15名 大学生1名 職場体験(中学生)11人	やや遅延
小山町観光検定の実施(実施回数)	観光検定制度の検討	観光検定数 2回実施	制度の検証 (観光検定制度の検討)	観光検定制度の検証中	準備中
小山町観光親善大使の認定(認定数)	1人	1人	1人 (1人)	大砂嵐金崇郎関	順調

### 3-(3) インバウンドへの対応を強化します

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
プログラムの開発(モニターツアーの参加者(社)数)	1社	5社	4社 (4社)	①日本旅行記者クラブ ②交通新聞社 旅の手帳編集部 ③東京中日スポーツ ④エディター・ライター	順調
外国人観光客へのおもてなしの充実(セミナー開催数)	-	2回	0回 (1回)	ゴルフやサイクリングによる外国人受入環境の整備について協議したが、セミナーは未開催	未実施
外国語表記の充実(「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」と回答する町民の割合)	-	50%	20% (20%)	町民アンケート(H28年度)	順調
外国語表記の充実(町ホームページの多言語化)	多言語化実施	継続	継続 (継続)	町ホームページについて多言語化を継続中	順調

### 3-(4) 観光情報の基盤を整えます

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
総合的な観光情報の集約・管理(観光サイトアクセス件数)	29,733件	50,000件	34,539件 (35,000件)	町ホームページアクセス数	概ね順調
Wi-Fiスポットの整備(観光施設での整備箇所数)	4箇所	19箇所	16箇所 (16箇所)	・五合目観光案内所 ・道の駅ふじおやま ・道の駅すばしり ・山小屋13件	順調
ネット予約・決済環境の整備促進	宿泊施設等でネット予約・決済ができる環境整備の促進				準備中

### 3-(5) 観光交通基盤を整備・活用します

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
季節運行バスの利便性向上(乗車人数)	9,251人	10,000人	9,524人 (9,500人)	・明神峠(駿河小山～明神峠) 1,058人 ・登山バス(御殿場～富士山) 6,023人 ・ハイキングバス(御殿場～富士山) 1,187人 ・湘南(新松田～富士山) 1,256人	順調
小山PA/足柄SA周辺の整備(国際観光ホテルの施設数)	1施設	4施設	1施設 (1施設)	・富士之堡華園ホテル	順調
ユニバーサルデザイン化の推進	観光施設等についてユニバーサルデザイン化の推進			ふじのくにユニバーサルデザイン行動計画に基づき観光施設等について指導中	順調

### 3-(6) 広域連携を推進します

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
広域ネットワークによる取り組みの推進	広域ネットワーク組織による取り組みの強化			・表富士観光キャバン ・国道138号沿線観光広域連携協議会 ・富士山五口協議会 ・富士地区観光協議会 (H30～32 destinations キャンペーンに参加決定)	順調
金太郎にちなんだ交流の活性化(交流回数)	7回	8回	7回 (8回)	①富士山金太郎夏まつり ②金時まつり(勝央町) ③姉妹町等富士登山交流 ④酒呑童子まつり ⑤福知山のうまいもの市 ⑥足柄金太郎まつり ⑦福知山市鬼伝説交流学習(太鼓交流、文化祭、こども社会科見学)	概ね順調

### 3-(7) 特産品・名産品の充実を図ります

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
道の駅・足柄SA・小山PAにおける販売促進・PR	特産品のPRのため、各施設に特産品コーナーを設置			・道の駅ふじおやま ・道の家すばしり	順調
インターネットを活用した販売促進(特産品サイトアクセス件数)	2,370件	4,500件	6,234件 (3,000件)	町ホームページ特産品サイトアクセス件数	順調
ご当地グルメの開発	町内産食材を活用したメニューの開発		調査・研究(町内産食材を活用したメニューの開発)	農商工連携協議会で、町の特産品を使ったご当地グルメの商品開発を実施	順調

3-(8) ” 小山町” をエリアとしてアピール・ブランド化します

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
地域ブランドの構築 (商工会優良推奨品数)	-	30品	7品 (10品)	①金太郎サブレ ②山そだち(生わさび入り 最中) ③金太郎の熊どら ④金時せんべい ⑤金太郎トマト ⑥金太郎勝バーガー ⑦金太郎 草履	概ね順調
ブランドイメージの確立	-	外部へのPR	商工会優良推 奨品の設置 (-)	ブランドイメージの明確化 に向け商工会優良推奨品 の検討、選出	準備中

3-(9) 日本版DMO法人を設立し観光地域づくりを推進します

年度別目標(指標)	現状値(27年度)	目標値(31年度)	H28年度	備考(内訳等)	評価
町内観光の実態把握 (旅行消費額、外国人宿泊 数等)	-	継続的なデー タ収集・分析	-	日本版DMO候補法人登録 地方創生推進交付金申請	準備中
戦略的観光プロモーション の実施	-	事業実施	-		準備中
DMO設立のための合意形 成	-	法人化	-		準備中

## IV 今後の課題

小山町の観光を巡る状況は日々進展しており、現在の観光振興計画、同アクションプランに加え、以下の状況への対応も必要とされるところです。

### (1) DMOの早急な体制づくり及び認知

小山町の今後の観光振興の推進のため、特に重要となるDMOについては、早急にその体制の確立と、実施プログラムの明確化、観光関連事業者及び関係町民におけるその必要性と存在の認知が重要です。

特に小山町は富士山を始め、自然が豊かであり、地域資源を活かした体験型イベント等の実施が可能です。これらを適切に商品化し、首都圏や外国にむけ、積極的なプロモーションを実施していく事が望まれます。

### (2) インバウンド対応プログラムの進化

2020年のオリンピック・パラリンピック大会の開催もあり、従来をはるかに上回る勢いで増加する訪日外国人観光客の受け入れ体制を充実する必要性が生じています。小山町ではこのインバウンド増加傾向への対応として、従来以上に地域資源を生かした「外国人観光客へのおもてなしの充実」を図る取り組みの強化が望まれます。

### (3) 連携体制の強化

上記の課題に対応するには町内の関係団体の連携協力が不可欠です。このため情報の共有、協働プログラムの導入などが重要です。そこで、観光協会・商工会など関係団体による情報交換の機会の増加や、事業連携の機会の充実、協働による新たな観光商品開発など、従来以上の熱意とスピード感をもって推進することが望まれます。場合により大学等町外の多様な主体との連携体制の強化も必要とされます。